

歴史から学ぶ防災シンポジウム in東区

申込締切
12/28(金)

2018年7月の西日本豪雨は、岡山市東区にも甚大な被害をもたらしました。一方で、今後30年以内に南海トラフ沿いでM8～9クラスの地震が発生する可能性が70%～80%とされています。

磯田道史先生の基調講演、岡山大学の松多信尚研究チームによる昭和南海地震当時の被害報告書等の調査等を基にした講演を通して、自分たちの地域や歴史を見直し、防災について考えるきっかけにしませんか。

参加費無料

要申込 定員500名

※申込方法等は裏面参照

日時 平成31年**1月26日(土)** 13:30～16:15

場所 百花プラザ大ホール (岡山市東区西大寺南一丁目2番3号)

13:35～ 磯田道史氏講演 / 15:15～ 松多信尚氏講演



磯田 道史氏 Michifumi Isoda

PROFILE

国際日本文化研究センター准教授。1970年岡山市生まれ。慶応義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。専門は日本社会経済史。茨城大学准教授、静岡文化芸術大学教授などを経て、現職。2003年に「武士の家計簿」で新潮ドキュメント賞受賞。他に「日本人の叡智」「歴史の楽しみ方」などの著作がある。

PROFILE

松多 信尚氏 Nobuhisa Matsuta

岡山大学教授。1971年東京都港区生まれ。東京大学理学部地理学専攻卒業・東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻博士課程修了。東京大学地震研究所研究員、名古屋大学減災連携センター研究員などを経て、現職。専門は自然地理学・地形学・災害の地理学に関する研究で「防災・減災につなげるハザードマップの活かし方」(共著)などの論文多数。



主催：岡山市東区役所

問い合わせ先 **(株)オフィスダン 防災シンポジウム係** TEL.086-239-2833

※申込は裏面を参照の上、期日までをお願いいたします。